

被災地のこころのケアについて 東日本被災者健診の受診者対応

研究分担者 酒井 明夫（岩手医科大学 副学長）
研究分担者 大塚 耕太郎（岩手医科大学 神経精神科学講座教授）
研究協力者 遠藤 仁（岩手医科大学 災害・地域精神医学講座特命講師）
研究協力者 赤平 美津子（岩手医科大学 災害・地域精神医学講座特命助教）
研究協力者 三條 克巳（岩手医科大学 神経精神科学講座助教）
研究協力者 福本 健太郎（岩手医科大学 神経精神科学講座助教）
研究協力者 小泉 範高（岩手医科大学 神経精神科学講座助教）

研究要旨

岩手県こころのケアセンターでは市町村における東日本被災者健診の健診受診者のフォローアップを支援している。本研究では、当ケアセンターにおける東日本被災者健診の受診者対応の把握を試みた。岩手県こころのケアセンターが対応したケースは多くが高得点者であり、一部高得点者ではないが保健師等から見てフォローが必要なケース、本人の相談希望があったケースも含まれていた。検知される症状の背景には健康問題だけでなく、被災者の直面している現状が反映されていた。

東日本被災者健診においては、市町村とこころのケアセンターを含めた被災地保健医療事業を進めるうえでも役立つものであった。被災地住民や各地の心理的危機にある方々への支援が行き届くような仕組みづくりが推進される体制の構築が進められており、地域が再構築され、地域住民がこころの豊かな生活を安心して享受できる社会につながる取組を提供していくためには、長期的な視点で事業を継続していく体制が必須であると考えられた。

A．研究目的

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波は、国内観測史上類を見ない規模の大地震と巨大津波、その後断続的に発生した余震によって、岩手県においても多くの尊い命と財産が奪われた。津波は、過去の津波を凌ぐ大規模なものであり、沿岸地域における人的、物的被害は想像を絶するものであった。

震災初年度においては岩手県では岩手医科大学を含め延べ 30 のこころのケアチームが被災地で活動を行った。そして、こころのケアを中長期的に継続していくために、平成 24 年 2 月に岩手県委託事業で岩手医科大学では

「岩手県こころのケアセンター」を同大学内に、平成 24 年 3 月に「地域こころのケアセンター」を沿岸 4 か所に設置した。平成 24 年度より実質的な活動を開始した。活動の骨子は、1) 訪問活動などを通じた被災者支援、2) 震災こころの相談室による精神科医師、精神保健専門職による個別相談、3) 市町村等の地域保健活動への支援、4) 従事者支援、5) 自殺対策、6) その他地域のニーズによる活動である。活動は市町村等の地域関係機関と連携して行われている。東日本被災者健診における受診者に関しての市町村のフォローについて、当センターでも支援を行っている。

本研究では、岩手県こころのケアセンターにおける東日本被災者健診の受診者対応の把握を試みた。

B．研究方法

岩手県こころのケアセンターにおける東日本被災者健診の活動内容及び対応者の傾向を平成 24 年度から 30 年度にかけて継続的に調査した。

(倫理面への配慮)

本研究の実施にあたっては、疫学研究に関する倫理指針に遵守し、個人を特定可能なデータは使用せず、個人情報保護に配慮した。

C．研究結果

1．岩手県こころのケアセンターの東日本被災者健診の受診者対応の概要

平成 24～30 年度に実施された東日本被災者健診において、アテネ不眠尺度と心の健康度(K6)の高得点(カットオフ値は、各市町村が設定)の受診者を対象に岩手県こころのケアセンタースタッフが面接を行った。山田町、大槌町、釜石市平田地区では、健診会場内にて、陸前高田市では、後日、家庭訪問にて、面接を行った。面接した結果は、「終了(不在)」および、今後のフォローを必要とする「継続(震災ストレス相談室)」、「継続(コメディカル訪問)」、「関係機関紹介」、「その他」に分類し、判断した。なお、健診会場内での面接では、カットオフ値以下や、被災者健診を受けない特定健診受診者でも相談を希望される方への面接も行った。

2．対応した受診者の概要

平成 24 年度は、1 町へ協力し、健診受診者 2,294 名中 335 名(14.6%)〔男 88 名、女 246 名、不明 1 名〕、平成 25～29 年度では 2 市 2 町へ協力し、平成 25 年度は、健診受診者 7,136 名中 376 名(5.3%)〔男 112、女 264 名〕、平成 26 年度では、健診受診者 6,720 名中 479 名(7.1%)〔男 151 名、女 328 名〕、平成 27 年度は健診受診者 6,507 名中 348 名(5.4%)〔男

112 名、女 236 名〕、平成 28 年度は健診受診者 6,157 名中 399 名(6.5%)〔男 107 名、女 267 名〕、平成 29 年度は、2 市 2 町し協力し、5,619 名中 292 名(3.1%)〔男 84 名、女 208 名〕、平成 30 年度は、終了している 1 市 2 町へ協力し、概算値で 3,012 名中 260 名(8.6%)〔男 79 名、女 181 名〕の面接を行った(表 1、図 1、表 2、図 2)。

面接結果(帰結)では、今後もフォローが必要な方が、平成 24 年度では 20 名(6.0%)、平成 25 年度では 47 名(12.5%)、平成 26 年度では 43 名(9.0%)、平成 27 年度では 31 名(8.9%)、平成 28 年度では 19 名(4.8%)、平成 29 年度では 18 名(6.2%)、平成 30 年度は 8 名(7.5%)だった(表 3、表 4、図 3)。要フォロー者の対応方法は、医師対応が必要な相談室紹介が、平成 24 年度では 3 名(15.0%)、平成 25 年度では 4 名(8.5%)、平成 26 年度では 3 名(7.0%)、平成 27 年度では 1 名(3.2%)、平成 28 年度および 29 年度では 0 名(0.0%)、平成 30 年度は 1 名(12.5%)だった。コメディカルの訪問では、平成 24 年度では 13 名(65.0%)、平成 25 年度では 27 名(57.4%)、平成 26 年度では 30 名(69.8%)、平成 27 年度では 28 名(90.3%)、平成 28 年度では 16 名(84.2%)、平成 29 年度では 18 名(100%)、30 年度では 1 名(12.5%)であった(表 5、図 4)。

相談の背景では、平成 24 年度では、居住環境の変化がその他を除く項目の中では、最も割合が高く 24.6%、翌年度以降は、15.6%、7.6%、5.2%、6.4%、4.4%、2.1%でした。次いで割合が高かったのは、健康上の問題で、年度ごとに、16.5%、22.7%、47.4%、50.2%、57.0%、65.8%、69.3%であった。相談の主訴では、平成 24 年度では睡眠の問題が最も割合が高く、年度ごとに、59.4%、31.9%、31.7%、35.8%、38.8%、41.3%、36.7%で、次いで身体症状の割合が高く、年度ごとに 16.6%、24.7%、27.1%、28.2%、30.4%、32.7%、27.1%であった(表 6、図 5、表 7、図 6)。

D．考察

岩手県こころのケアセンターにおける東日本被災者健診の対応については、それぞれの市町村のニーズに基づいて、健診の場での対応、ハイリスク者への訪問、相談室への紹介などの対応を行っていた。

ケアセンター対応は専門機関の介入であり、精神病院等の専門医療機関よりも敷居が低い、一方で通常の市町村での介入よりは専門性が高い介入である。ケアセンター対応になった割合は全調査対象の中で7%弱をしめている。

以前、基本健診におけるうつ病スクリーニングの一次スクリーニングにおいては、基本健診：6.0%、基本健診結果報告会：13.8%、健康相談会：19.0%、介護家族教室：48.0%、介護者訪問指導：82.6%、家庭訪問：50.0%と報告されている（中俣和幸ほか・厚生省の指標52巻（2005）, 14-20）。通常の市町村事業におけるうつ病スクリーニングでの一次スクリーニングの想定ラインよりもケアセンターの対応がより専門性が高い介入であることを勘案すると、ある程度専門機関介入を検討すべき対象が少なくないことが想定される。震災前はメンタルヘルスのスクリーニングが健診に組み込まれていないので、介入はされていなかった。

実際の介入であるが、対応を行ったものについては、高得点者、高得点ではないが相談へ結び付けたほうがよいと保健師等が検討したもの、本人からの相談の希望があったもの、に区分される。1回の対応で済むものだけでなく、その後も継続フォローを要するケースもある一定割合存在している。

また、自治体によっては高得点者の中で既に自治体の保健師等の訪問、見守り、地域の医療機関で治療中である場合には、それらが除かれた形でケアセンターにつながっているため、こころのケアが必要なケースのフォローに焦点化して、つながれているともいえる。

対応したものの抱える問題は、災害発生後7年目となったが健康問題が当然ながら多い

が、その他、経済的問題や、遺族としての悩み、家庭家族問題など被災者が直面している問題がその背景にあるものも存在していた。つながれるケースは不眠、身体症状、抑うつ症状を抱えているものが依然として多かった。

E．結論

東日本被災者健診におけるこころの健康の調査部分は、市町村が岩手県こころのケアセンターと連携して、その後の健診受診者のフォローアップに活用された。震災以前は健診と組み込まれたメンタルヘルスの把握やその後の介入は存在していなかったため、地域の精神保健体制に重要な役割を担っていると考えられる。

活用方法はそれぞれの市町村のこころの健康づくり活動の現状に合わせて設定されていた。岩手県こころのケアセンターが対応したケースは多くが高得点者であり、一部高得点者ではないが保健師等から見てフォローが必要なケース、本人の相談希望があったケースも含まれていた。検知される症状の背景には健康問題だけでなく、被災者の直面している現状が反映されていた。

対応をしたもののうち、症状を持たないものは4%にも満たないことや、相談対応やその後のフォローを必要としていたことから、震災から7年を経過しても被災者において、こころの健康の深刻な問題を抱えているものが少なくないことが明らかとなった。

仮設住宅からの移動や復興への期間は延長し、被災者は時間の経過とともに医療費、経済的自立、高齢化など、現実的な生活の様々な困難を抱え、持続的なストレスにさらされている。住民同士の繋がりが減弱し、地域との結びつきの希薄さ、孤独などの問題は、インフラが整備された後にも継続していくことが想定される。

東日本被災者健診においては、市町村とこころのケアセンターを含めた被災地保健医療事業を進めるうえでも役立つものであった。

再建・復興期には自力再建した自宅や復興

住宅へ移行後も支援が行われるが、定住期に住民が安心して暮らせるようになるために、支援が継続され、深刻事例対応、健康づくり推進、相互交流・支援を深化させ、健康格差へ配慮する視点が求められる。そして、見守り、コミュニティ形成や実務者派遣、被災者の救済制度など様々な支援活動も継続される必要がある。災害後の現実的な社会的援助がメンタルヘルスに関連するため、長期的な視点で対人支援と健康づくりの継続的な支援が必要である。岩手県の保健医療計画でも震災こころのケアを柱の一つに位置付けている。

大規模災害の被災地は長期的にこころの健康のリスクにさらされ、行政力(財政力指数)医療基盤は十分といえず、地域の被災により増大した健康問題ニーズを支援なしで対応することは当面厳しいと考えられる。介入を弱めれば危険性が高まるため、被災地の変化する社会状況に対応しながら、図 7(長期的なこころのケアのモデル)のように当初想定した介入(点線)よりも実際の支援は中期、長期では強度を強めたメンタルヘルス対策を行う必要がある、定住期まで介入強度を高い水準で維持する必要がある。

被災地住民や各地の心理的危機にある方々への支援が行き届くような仕組みづくりが推進される体制の構築が進められており、地域が再構築され、地域住民がこころの豊かな生活を安心して享受できる社会につながる取組を提供していくためには、長期的な視点で事業を継続していく体制が必須であると考えられた。

F. 研究発表

1. 論文発表

1. 大塚耕太郎. 被災地における自殺対策の現状と課題, 精神保健福祉白書 2018/2019. Pp37, 2018(刊行予定)
2. 大塚耕太郎, 酒井明夫, 遠藤仁ほか. 特集 1/精神疾患発症・重症化の予防はどこまでできるのか「心的外傷後ストレス障害(PTSD)やうつ病など

苦痛な体験から引き起こされるメンタルヘルス問題への予防対策」. 精神科第 32 巻第 4 号. 2018.318:322

2. 学会発表

1. 特記なし

表 1. 東日本被災者健診日程および受診者数ならびにケアセンター対応状況

平成 30 年 11 月 30 日現在

地域		H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
山田町	実施日	9/3～11/13	9/2～11/12	9/1～11/14	9/1～11/14
	受診者数(人)	2,294	2,223	2,097	2,002
	ケアセンター対応数(人)	335(14.6%)	93(4.1%)	294(14.1%)	180(9.0%)
	内 高得点者(人)	334(99.7%)	92(99.0%)	293(99.7%)	177(98.3%)
	内 希望者(人)	1(0.3%)	1(1.0%)	1(0.3%)	3(1.7%)
カットオフ値	アテネ不眠尺度:6点以上 又は K6:13点以上および希望者 (平成25年度からは、該当者のうちの希望者および希望者)				
大槌町	実施日	5/14～5/27 12/12～12/15	5/14～5/28	5/8～5/25	5/11～5/24 11/8
	受診者数(人)	(1,611)	1,492	1,321	1,280
	ケアセンター対応数(人)	/	95(6.5%)	96(7.3%)	78(6.1%)
	内 高得点者(人)		88(92.6%)	94(97.9%)	78(100%)
	内 希望者(人)		7(7.4%)	2(2.1%)	0(0%)
カットオフ値	アテネ不眠尺度:10点以上又は K6:10点以上 および希望者(被災者健診未受診者含)				
平田地区 釜石市	実施日	11/1・2	10/31～11/1	10/30・31	10/22・23
	受診者数(人)	(174)	160	158	150
	ケアセンター対応数(人)	/	15(9.4%)	13(8.2%)	15(10%)
	内 高得点者(人)		15(100.0%)	12(92.3%)	15(100%)
	内 希望者(人)		0(0.0%)	1(7.7%)	0(0.0%)
カットオフ値	アテネ不眠尺度:10点以上又は K6:10点以上および希望者				
陸前高田市	実施日	10/1～12/14	10/7～12/13	1/25～12/16	10/5～12/15
	受診者数(人)	(3,537)	3,261	3,144	3,075
	センター訪問期間	/	H25/10～ H26/5	H27/6～H27/9	H28/8～ H28/11
	ケアセンター対応数(人)		173(5.3%) (市実施分含)	76(2.4%)	75(2.4%)
	内 高得点者(人)		173 (100.0%)	76 (100.0%)	75 (100.0%)
	内 希望者(人)		0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)
カットオフ値	アテネ不眠尺度 13点以上又は K6:13点以上				
合計	受診者数	2,294	7,136	6,720	6,507
	ケアセンター 対応	あり	335(14.6%)	376(5.3%)	479(7.1%)
	なし	1,959(85.4%)	6,760(94.7%)	6,241(92.9%)	6,159(94.7%)

地域		H28 年度	H29 年度	H30 年度	
山田町	実施日	8/30～11/15	8/29～10/31	8/29～10/30	
	受診者数(人)	1,935	1,878	1,836	
	ケアセンター対応数(人)	291(16.8%)	222(7.9%)	218(11.9%)	
	内 訳	高得点者(人)	290(99.7%)	222(100%)	213(97.7%)
		希望者(人)	1(0.3%)	0(0%)	5(2.3%)
	カットオフ値	アテネ不眠尺度：6 点以上 又は K6：13 点以上および希望者(平成 25 年度からは、該当者のうちの希望者および希望者)			
大槌町	実施日	5/14～5/28	5/8～5/25	5/8～5/21 11/3・4	
	受診者数(人)	1,186	1,056	1,053	
	ケアセンター対応数(人)	34(2.9%)	37(3.5%)	39(3.7%)	
	内 訳	高得点者(人)	34(100%)	36(97.3%)	38(97.4%)
		希望者(人)	0(0.0%)	1(2.7%)	1(2.6%)
	カットオフ値	アテネ不眠尺度：10 点以上又は K6：10 点以上 および希望者(被災者健診未受診者含)			
平田地区 釜石市	実施日	10/27・28	10/26・27	10/25・26	
	受診者数(人)	142	136	123	
	ケアセンター対応数(人)	10(7.0%)	4(2.9%)	3(2.4%)	
	内 訳	高得点者(人)	10(100%)	4(100%)	3(100%)
		希望者(人)	0(0.0%)	0(0%)	0(0%)
	カットオフ値	アテネ不眠尺度：10 点以上又は K6：10 点以上および希望者			
陸前高田市	実施日	10/3～12/13	10/3～12/13	実施中	
	受診者数(人)	2,894	2,549		
	センター訪問期間	H29/9～H30/1	H30/9～実施中	実施前	
	ケアセンター対応数(人)	64(2.2%)	29(1.1%)		
	内 訳	高得点者(人)	64(100%)		29(100%)
		希望者(人)	0(0.0%)		0(0.0%)
	カットオフ値	K6：13 点以上			
合計	受診者数		6,157	5,619	3,012
	ケアセンター 対応	あり	399(6.5%)	292(5.2%)	260(8.6%)
		なし	5,758(93.5%)	5,327(94.8%)	2,753(91.4%)

*1 受診者数は平成 29 年度岩手県被災地健康支援事業運営協議会資料より抜粋(29・30 年度は概算値)

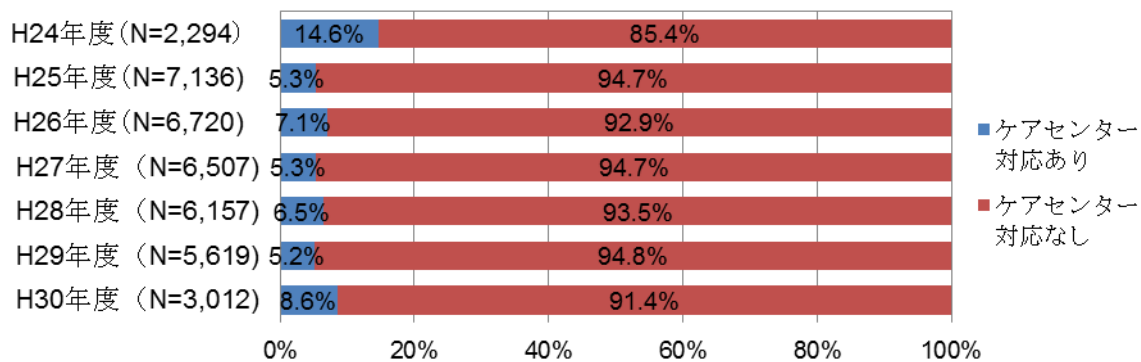


図1. 健診受診者全体に占めるケアセンター対応の年度別割合

表2. ケアセンター対応数の年度別男女別状況

単位：人(%)

年度	男性	女性	不明	計
H24年度	88(26.3%)	246(73.4%)	1(0.3%)	335(100%)
H25年度	112(29.8%)	264(70.2%)	0(0.0%)	376(100%)
H26年度	151(31.5%)	328(68.5%)	0(0.0%)	479(100%)
H27年度	112(32.2%)	236(67.8%)	0(0.0%)	348(100%)
H28年度	113(28.3%)	286(71.7%)	0(0.0%)	399(100%)
H29年度	84(28.8%)	208(71.2%)	0(0.0%)	292(100%)
H30年度	79(30.4%)	181(69.6%)	0(0.0%)	260(100%)

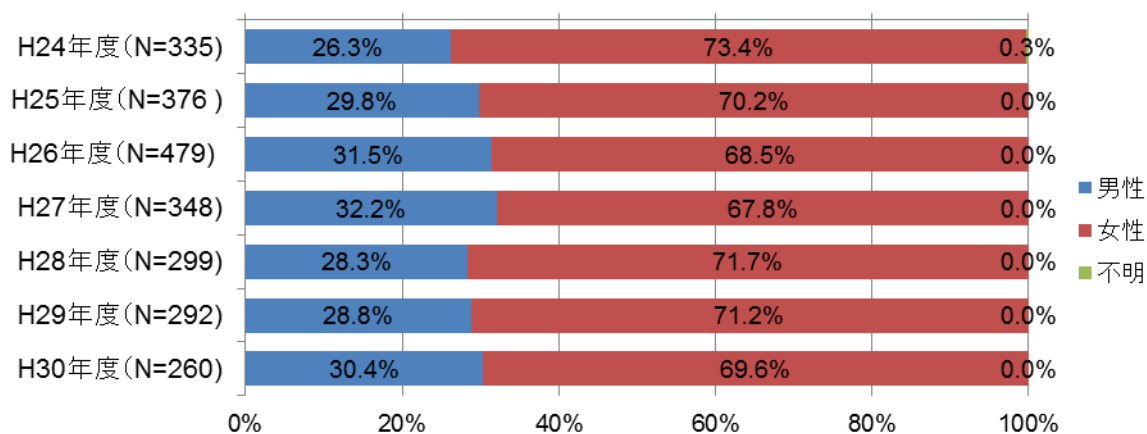


図2. ケアセンター対応数に占める年度別男女別割合

表3. 市町村別ケアセンター対応結果（帰結）

単位：人(%)

市町村名	年度	健診 受診者数	ケアセンター 対応数 (受診者数に 対する割合)	帰結 (ケアセンター対応数に対する割合)	
				終了 (不在終了含)	要フォロー (継続他)
山田町	H24	2,294	335 (14.6%)	315(94.0%)	20(6.0%)
	H25	2,223	93 (4.2%)	85(91.4%)	8(8.6%)
	H26	2,097	294 (14.0%)	280(95.2%)	14(4.8%)
	H27	2,002	180 (9.0%)	177(98.3%)	3(1.7%)
	H28	1,935	291 (15.0%)	288(98.9%)	3(1.1%)
	H29	1,878	222 (11.8%)	222(100%)	0(0.0%)
	H30	1,836	218 (11.9%)	217(99.5%)	1(0.5%)
大槌町	H25	1,492	95 (6.4%)	87(91.6%)	8(8.4%)
	H26	1,321	96 (7.3%)	91(94.8%)	5(5.2%)
	H27	1,280	78 (6.1%)	78(100.0%)	0(0.0%)
	H28	1,186	34 (2.9%)	34(100.0%)	0(0.0%)
	H29	1,056	37 (3.5%)	37(100.0%)	0(0.0%)
	H30	1,053	39 (3.7%)	32(92.1%)	7(17.9%)
釜石市 平田地区	H25	160	15 (9.4%)	12(80.0%)	3(20.0%)
	H26	158	13 (8.2%)	12(92.3%)	1(7.7%)
	H27	150	15 (10.0%)	15(100.0%)	0(0.0%)
	H28	142	10 (7.0%)	10(100.0%)	0(0.0%)
	H29	136	4 (2.9%)	4(100.0%)	0(0.0%)
	H30	123	3 (2.4%)	3(100.0%)	0(0.0%)
陸前高田市	H25	3,261	173 (5.3%)	145(83.8%)	28(16.2%)
	H26	3,144	76 (2.4%)	53(69.7%)	23(30.3%)
	H27	3,075	75 (2.7%)	47(62.7%)	28(37.3%)
	H28	2,894	64 (2.2%)	48(75.0%)	16(25.0%)
	H29	2,549	29 (1.1%)	11(37.9%)	18(62.1%)

* 陸前高田市の訪問時の不在時の扱いは、3回まで訪問し、その間は要フォローとして計上。3回訪問して不在の場合は、不在終了として、終了に計上する

表4. 年度別ケアセンター対応結果（帰結）

年度	健診 受診者数	ケアセンター対応数 (受診者数に対する割合)	帰結 (ケアセンター対応数に対する割合)	
			終了(不在含)	要フォロー (継続他)
H24年度	2,294	335 (14.8%)	315(94.0%)	20(6.0%)
H25年度	7,136	376 (5.3%)	329(87.5%)	47(12.5%)
H26年度	6,720	479 (7.1%)	436(91.0%)	43(9.0%)
H27年度	6,507	348 (5.2%)	317(91.1%)	31(8.9%)
H28年度	6,157	399 (4.8%)	380(95.2%)	19(4.8%)
H29年度	5,619	392 (5.2%)	274(93.8%)	18(6.2%)
H30年度	3,012	260 (8.6%)	252(92.5%)	8(7.5%)

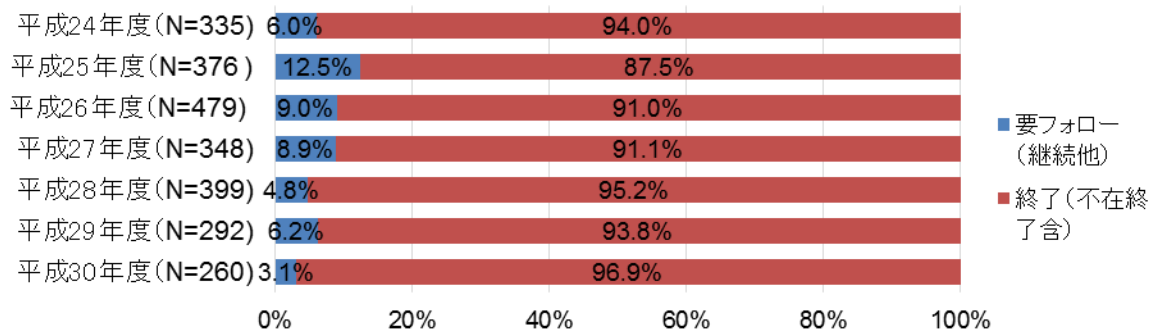


図3. ケアセンター対応数に占める年度別要フォロー者割合

表5. ケアセンター対応数に占める要フォロー者（継続他）のフォロー方法の年度別内訳

単位：人(%)

年度	ケアセンター対応数	要フォロー者数 (帰結：継続他) (ケアセンター対応数に対する割合)	継続		関係機関紹介	その他
			相談室	訪問		
(要フォロー者数に対する割合)						
H24年度	335	20(6.0%)	3(15.0%)	13(65.0%)	0(0.0%)	4(20.0%)
H25年度	376	47(12.5%)	4(8.5%)	27(57.4%)	2(4.3%)	14(29.8%)
H26年度	479	43(9.0%)	3(7.0%)	30(69.8%)	0(0.0%)	10(23.3%)
H27年度	348	31(8.9%)	1(3.2%)	28(90.3%)	0(0.0%)	2(6.5%)
H28年度	399	19(4.8%)	0(0.0%)	16(84.2%)	0(0.0%)	3(15.8%)
H29年度	292	18(6.2%)	0(0.0%)	18(100.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)
H30年度	260	8(3.1%)	1(12.5%)	1(12.5%)	0(0.0%)	6(75.0%)

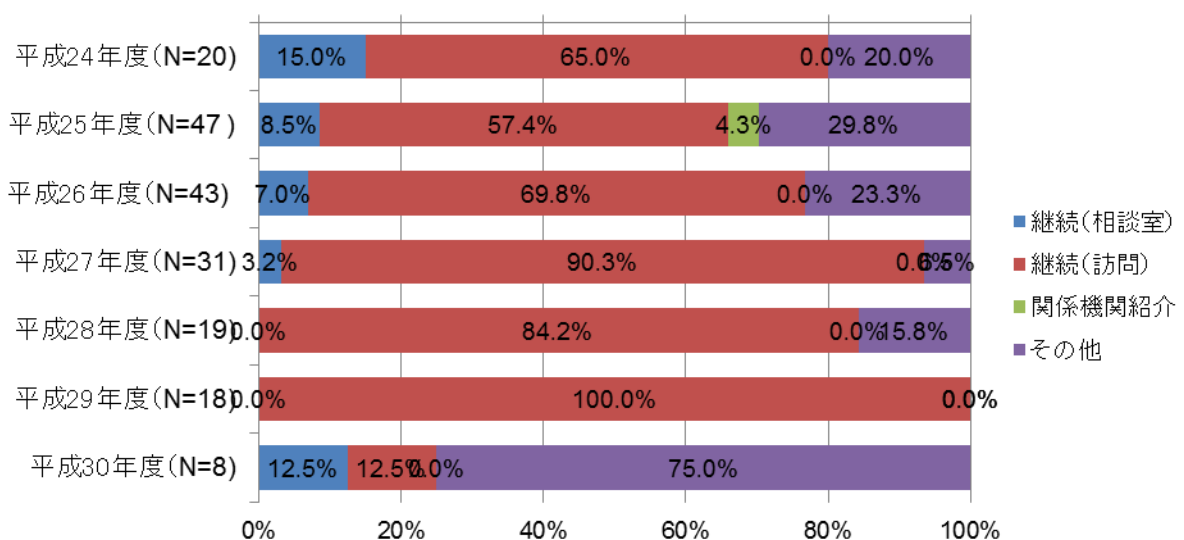


図4. ケアセンター対応の要フォロー者（継続他）のフォロー方法の年度別内訳割合

表6. ケアセンター対応の年度別相談の背景の内訳（複数回答）

単位：人（％）

年度	近親者喪失	住居環境の変化	経済生活 再建問題	失業 就労問題	人間関係	家族・家庭問題	教育 育児・転校	放射能	健康上の問題	その他	不明	合計回答数
H24	36	100	0	33	17	31	4	0	67	119	0	407
	8.8%	24.6%	0.0%	8.1%	4.2%	7.6%	1.0%	0.0%	16.5%	29.2%	0.0%	100%
H25	68	102	16	36	24	50	9	3	148	175	22	653
	10.4%	15.6%	2.5%	5.5%	3.7%	7.7%	1.4%	0.5%	22.7%	26.8%	3.4%	100%
H26	65	54	17	39	27	72	2	0	335	90	6	707
	9.2%	7.6%	2.4%	5.5%	3.8%	10.2%	0.3%	0.0%	47.4%	12.7%	0.8%	100%
H27	50	30	8	24	36	54	2	0	290	80	4	578
	8.7%	5.2%	1.4%	4.1%	6.2%	9.3%	0.3%	0.0%	50.2%	13.8%	0.7%	100%
H28	38	35	3	26	25	58	1	0	313	49	1	549
	6.9%	6.4%	0.5%	4.7%	4.6%	10.6%	0.2%	0.0%	57.0%	8.9%	0.2%	100%
H29	25	17	1	16	12	32	0	0	256	29	1	389
	6.4%	4.4%	0.3%	4.1%	3.1%	8.2%	0.0%	0.0%	65.8%	7.5%	0.3%	100%
H30	19	6	2	10	14	26	0	0	194	9	0	280
	6.8%	2.1%	0.7%	3.6%	5.0%	9.3%	0.0%	0.0%	69.3%	3.2%	0.0%	100%

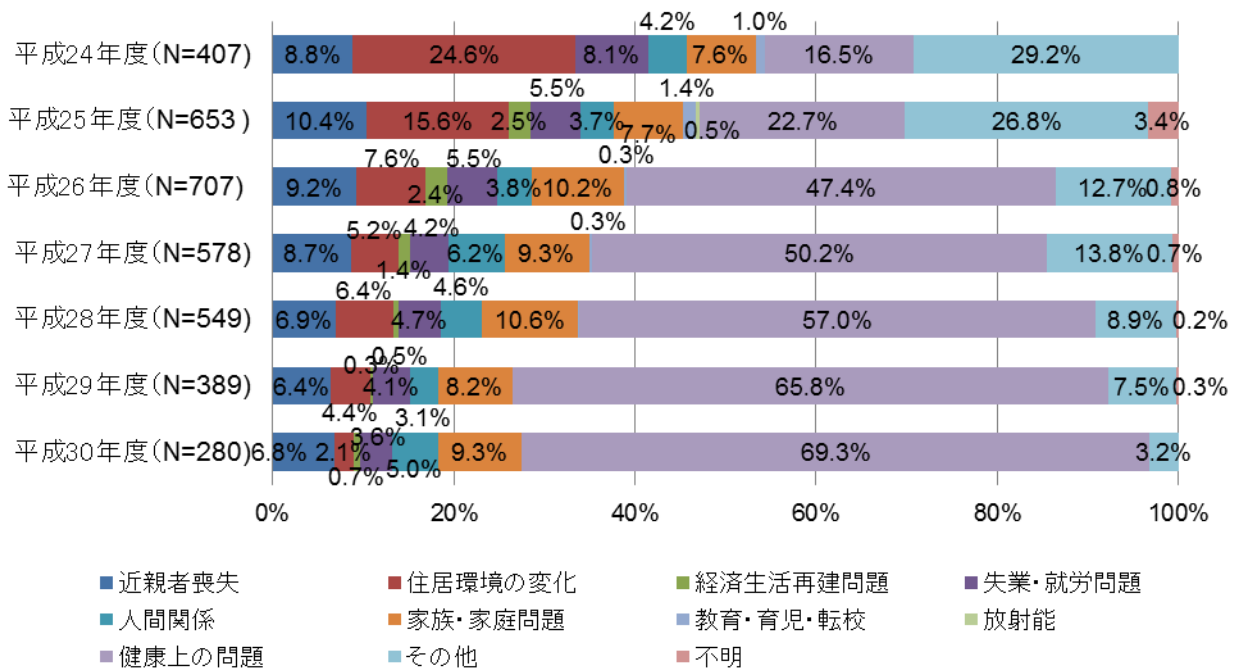


図5. ケアセンター対応の全回答数に占める年度別相談の背景の内訳割合

表7 ケアセンター対応の年度別相談主訴の内訳(複数回答)

単位:人(%)

年度	身体症状	睡眠の問題	不安症状	気分・情動に関する症状	乖離・転換症状	強迫症状	幻覚・妄想症状	行動上の問題	てんかん・けいれん発作	飲酒の問題	意識障害	小児に特有の症状	その他の症状	症状なし	不明	回答合計数
H24	70	250	17	40	0	0	0	1	0	1	0	0	41	1	0	421
	16.6%	59.4%	4.0%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	9.7%	0.2%	0.0%	100%
H25	178	230	39	112	0	3	4	16	0	9	10	3	85	17	15	721
	24.7%	31.9%	5.4%	15.5%	0.0%	0.4%	0.6%	2.2%	0.0%	1.2%	1.4%	0.4%	11.8%	2.4%	2.1%	100%
H26	221	259	37	95	0	0	0	14	0	4	0	0	78	103	6	817
	27.1%	31.7%	4.5%	11.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.5%	0.0%	0.2%	9.5%	12.6%	0.7%	100%
H27	185	235	29	89	1	0	0	16	1	1	0	0	62	28	10	657
	28.2%	35.8%	4.4%	13.5%	0.2%	0.0%	0.0%	2.4%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	9.4%	4.3%	1.5%	100%
H28	199	254	14	68	0	0	0	6	0	1	0	0	49	58	6	655
	30.4%	38.8%	2.1%	10.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	7.5%	8.9%	0.9%	100%
H29	164	207	10	45	0	0	0	7	0	2	0	0	41	19	6	501
	32.7%	41.3%	2.0%	9.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	8.2%	3.8%	1.2%	100%
H30	118	160	10	52	0	0	1	4	0	1	0	0	25	65	0	436
	27.1%	36.7%	2.3%	11.9%	0.0%	0.0%	0.2%	0.9%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	5.7%	14.9%	0.0%	100%

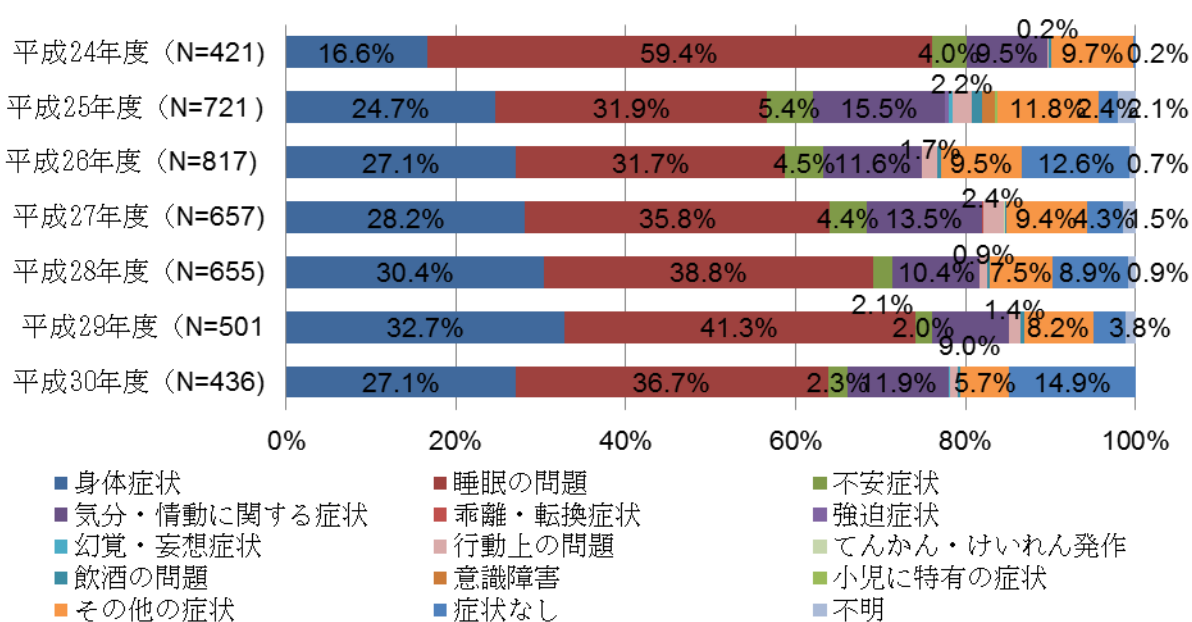


図6. ケアセンター対応の全回答数に占める年度別相談主訴の内訳割合

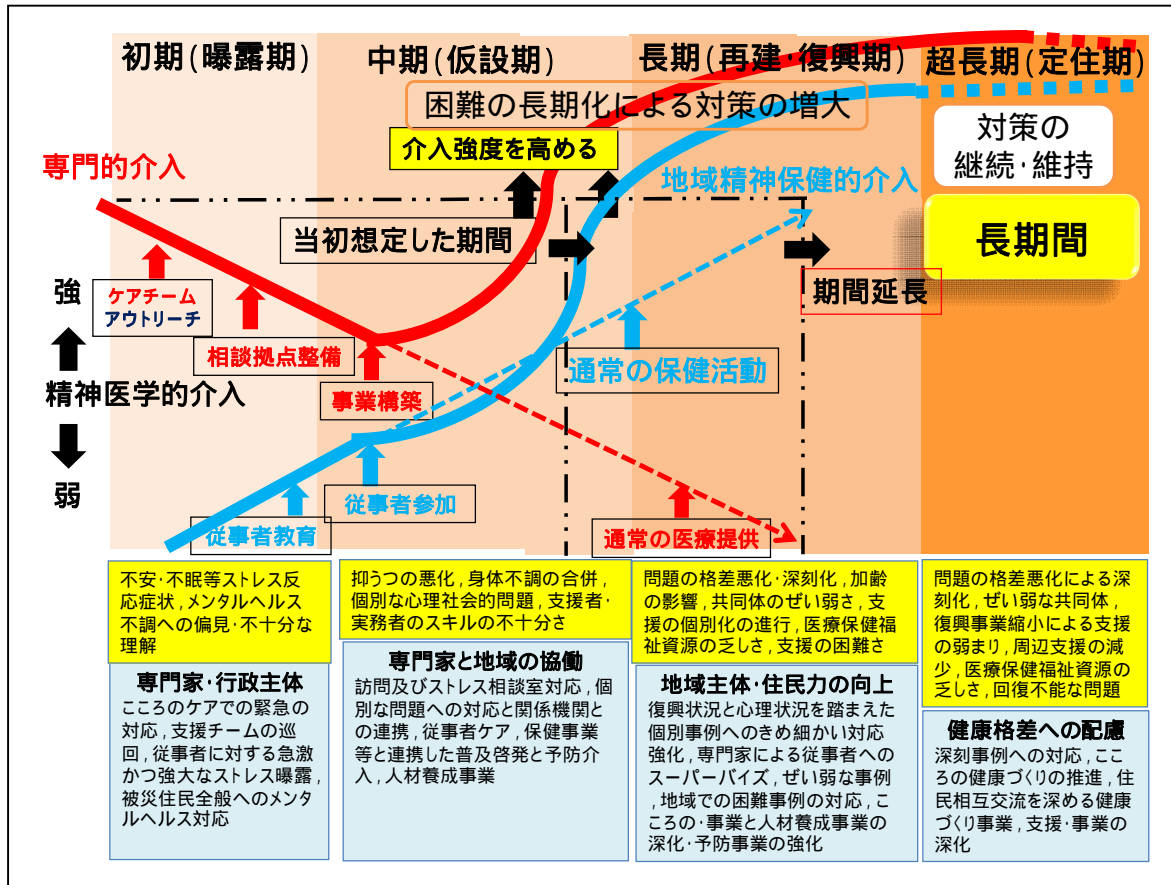


図7. 長期的なこころのケアのモデル

